

学校経営計画

重点1 『基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と活用力を育成する』

- (1) 学級経営を基盤に
 1. 集団生活のきまりを守り、規律ある行動がとれること。
 2. 学習に臨むにあたっての約束事が徹底されること。・時間を守る ・学習用具の準備 ・話をしっかり聞く。
 3. 温かな人間関係を育み、安心感と信頼感の中で児童が過ごせること。
- (2) 1時間、1時間の授業の充実を図る。
 1. 計画に基づいた学習指導
 2. 「東京ミニマム」を活用し、確実に身に付けさせる事項を精選する。
 - ・指導すべき内容についての徹底した理解と指導事項の精選。
 - ・児童の興味・関心を高める工夫。
- (3) 個に応じた指導の充実。
 1. 柔軟な学習形態や指導法の採用。
 2. 体験的学習での実感と確かな理解を伴う学習の実施。
 3. 指導と評価の一体化。
 - ・授業の「ねらい」と「評価規準」を一致させ、授業のゴールを明確にする。
 - ・1時間の授業の評価項目を一つに絞り、評価の重点化を図る。
 - ・授業終了時（後）など、ノート、学習シート、5分間テストなどで到達度を確認し、到達状況を把握する。
- (4) 実践的な校内研究による指導力の一層の向上。
 1. 授業研究を主体とした校内研究の推進。

重点2 『思いやりのある心豊かな児童を育成する』

- (1) 人や地域社会との関わりを通して他社意識を育む。
 1. あいさつを大切にし、あいさつのみなぎる学校をめざす。
 - ・生活指導部を中心とした取り組みを核に、組織的な取り組みをする。
 - ・家庭や地域の協力も得る。家庭や地域の協力も得る。
 2. 人と触れ合う機会を増やし、かかわりを通して児童の心を育てる。
 - ・異年齢のかかわり（縦割り班活動、学年を越えての活動）
 - ・異世代のかかわり（幼児や高齢者とのかかわり）
 - ・異なる立場の人とのかかわり（職業、障害などの異なる状況のある方と）
 3. 異なる立場の人とのかかわり（職業、障害などの異なる状況のある方と）
 - ・一人ひとりの児童への働きかけを大切にする。声をかけ、目をかけ、手をかけの「3かけ」の励行。
 - ・子供同士が共に学び、遊び、語り合う関係作りを促す
- (2) 体験的な学習活動や生活指導を通して、児童の感性や判断力を育む。
 1. ボランティア・奉仕体験
 2. 飼育・栽培活動
 3. 生活指導の充実を通して
 - ・基礎的・基本的な生活習慣や行動様式の確立。
 - ・善悪の判断力を育てる。

(3) 読書活動や食育の推進及び道德の充実を通して

1. 図書の時間や読書旬間の指導を通して、読書の契機とする。
2. 食育の推進を通して給食を残さない習慣、食に対する正しい知識と望ましい食習慣の形成。
3. 児童の心に響く道德の指導。

重点3 『学習環境を整え、安全で安心できる学校づくりを推進する』

(1) 児童が快適で安心して過ごせる環境を整える。

1. 整理整頓に心がけ、児童の安定した情緒の基盤とする。
2. 掲示や教材配置にも工夫し、新鮮で変化に富んだ環境をつくり出す。
3. 一人ひとりの児童を取り巻く環境に注意を向け、「居場所づくり」をする。
 - ・朝の出会いの表情やしぐさ、声掛けなどへの反応。
 - ・児童にとって安らぎを感じる居場所を確保する。
 - ・体罰やいじめは決してあってはならない。
 - ・不登校傾向には共通理解をもって、連携してあたる。

(2) 安全指導・安全点検の励行。

1. 日々の安全指導を徹底し、生活空間の安全確保を図る。
2. 看護当番活動の確実な遂行及び全職員による安全看護活動の励行。
3. 安全点検の確実な実施による、危険の早期発見・除去に努める。

(3) PTA や学校応援団、町会などと連携し、地域ぐるみの学校安全向上を図る

1. 教育活動の積極的な公開、情報の提供及び収集、教育活動の協力者の受け入れ等を推進する。
2. PTA、学校応援団、青少年委員会、町会などの団体との連携を一層深める。